撮影および送信上の注意点について

**１．送信について**

選手の名前が確認できるようにファイル名に選手名をいれ、メール等で選手と映像ファイルとの関連性を確認出来るようにして下さい。

スマートフォンなどで撮影した映像であれば100MB程度かと思いますので、添付でメール送信して頂いても構いません。メールでの送信が難しい場合はオンラインストレージ等をご活用下さい。Googleフォト・ギガファイル便など、可能な限り全てのオンラインストレージに対応します。

なお、セキュリティに関しては参加される方の責任でお願いいたします。

宛先はshorinji.highschool@gmail.comまでお願い致します。お送り頂いたURLを元に担当者が映像をダウンロード致します。

※送信がうまく出来ない場合につきましても、上記のアドレスにご連絡ください。

**２．動画の使用について**

送信された動画は全て一旦YouTube（限定公開）にアップロードされます。16：9画面による配信を通じて審判員が視聴し、評価が行われます。

その為、原則として撮影される映像は1080HD/ 30fpsと同等程度（iPhoneでは初期設定の数値です）でお願い致します。極端に画質が落ちますと正しい評価を得られない可能性がございます。スマートフォン等での撮影は横向きでお願いします。

**３．撮影時の注意点**

①道衣の名前・学校名（所属名）・都道府県名は全て見えないように（布やテープ等）して演武すること。

（見えた場合は反則とする、また、映像から所属や名前がわかるような場合も反則とする。袖章を外して演武を行うのも可とする。）

②一切の加工はおこなわないこと。発見された場合は反則とする。

　（このような時期だからこそ、正々堂々とおこないましょう。）

③送信者は、部活動顧問または当該高校教諭からとする。

④撮影者は、学校少林寺拳法部は、原則として部活動顧問または当該校教諭が行うこと。学校少林寺拳法部以外の出場者は、少林寺拳法指導者の撮影でも可とする

⑤撮影は副審１（演武者から見て右斜め前）の位置から行い、撮影機器の設置の高さは1ｍ50ｃｍから2ｍまでとする。

⑥演武場はマットや床、平面な場所とする。

　※撮影を行う場所は、競技規則のコート規定の７ｍ×７ｍの広さが望ましいが、規定以下の環境での撮影であっても可とする。また、演武を行うコートの大きさやコートのライン有無については審査基準の対象とはならない。

⑦全体、特に手先・足先まで見えるように撮影すること。

※休校等によって校外等で行わなければならない時は十分に注意して行ってください。

⑧最初と最後の合掌礼をしっかりとおこない撮影する。

⑨撮影の一部に不正防止の為、演武時間が確認できるように壁掛けの秒針付き時計、もしくは床置きの時間測定されているストップウォッチが演武動画に映り込むようにする。